

# 話題



地域の催し物やまちのできごとを写真で紹介します。

## 正月気分満喫(河南)

親子でお幣束<sup>へいそく</sup>としめ縄づくりに挑戦するお正月教室が12月10日(土)広淵小学校講堂で行われました。

指導にあたったのは、地元のお年寄りの集まり「百笑の輪」の皆さんです。

慣れない作業に苦戦しながらも、指導者の手助けもあって上々の出来栄えに参加者たちは満足そうでした。

この日は、昔のあそびやもちつき大会も催され、ひと足早い正月気分を満喫していました。



## 防火ポスターとして全国に配布!(石巻)

平成17年度全国火災予防ポスターコンクールにおいて、鹿妻小学校6年の三浦綾さんの作品が全国最優秀賞に選ばれ、12月6日(火)鹿妻小学校で全日本消防人共済会の徳田正明会長から表彰状と記念品が贈られました。

この防火ポスターコンクールは、昭和60年度から全国の小中学生を対象に毎年行なわれています。

作品は、各都道府県の推薦を受けた47点の中から見事、最優秀賞に選ばれ、防火ポスターとして全国に配布されました。



## お帰りなさい!

### 4年ぶりの生まれ故郷(雄勝)

旧雄勝町では昭和50年から、サケの人工ふ化放流事業を続けています。

サケは毎年10月下旬から12月上旬をピークに川へ戻って来るため、大原川サケ人工ふ化場では、その時期にあわせて親魚を捕獲し、採卵から放流までの飼育を行っており、今期も最後の採卵作業を12月7日(水)に行いました。

1尾の親サケからとれる卵の数は約3,000粒で、大原川サケ人工ふ化場では約350万の卵をとり、放流サイズの体長約5cmに成長するまで大切に飼育を行います。

放流された稚魚は、3年から4年で大きく育ち、生まれ故郷の大原川に戻ってきます。



## お正月料理にチャレンジ!(牡鹿)

12月5日(月)、牡鹿保健福祉センター清優館で「男の料理教室」が行われました。

参加した男性は、なれない料理に苦戦しながらも栄養士の指導を受け、だて巻きや太巻きなどのお正月料理5品を作りました。

参加者は出来上がった料理に満足し、家庭でも挑戦したいと意気込んでいました。

# まちの



## みんなの気持ちをリズムに合わせ(北上)

11月17日(木)北上中学校体育館を会場に、地域の小中学校児童生徒による「北上町小中学校音楽会」が開催されました。

音楽会には、地区内の3小学校からは、4年生から6年生の児童が、2中学校からは全校生徒が参加しました。演奏では、和太鼓による「白波太鼓」や琴の演奏による「ほととぎす・四季の調べ」、合唱による「思い出がいっぱい」などが披露されました。会場には児童生徒の父母も出席し、演目が終了するたびに、大きな拍手を送っていました。



## わが子の演技に拍手喝采(桃生)

新田保育所に通う子どもたちのお遊戯会が11月26日(土)に行われ、子どもたちはたくさんの観客の前でも緊張せずに元気いっぱい上手な劇や踊りを保護者の方々に披露しました。

見学した保護者は、わが子の成長に目を細め大きな拍手を送っていました。



## おいしいお餅になあ〜れ!(河北)

11月22日(火)大谷地保育所で餅つき会が行われました。子どもたちには、さすがに杵は少し重そうでしたが、先生に手伝ってもらって「ぺったん、ぺったん」と丁寧に餅をついていました。

アツアツのつきたてのお餅は、その後、あんこ餅やきな粉餅、納豆餅にしてみんなで食べました。自分たちでついたお餅はおいしいね、と子どもたちは笑顔でほお張っていました。

河北地区では年末にかけて、全ての保育所で餅つき会が行われており、杵と臼を使った餅つきは、子どもたちにとって貴重な体験となっています。